

# 試 験 報 告 書

以下の試験結果を報告します

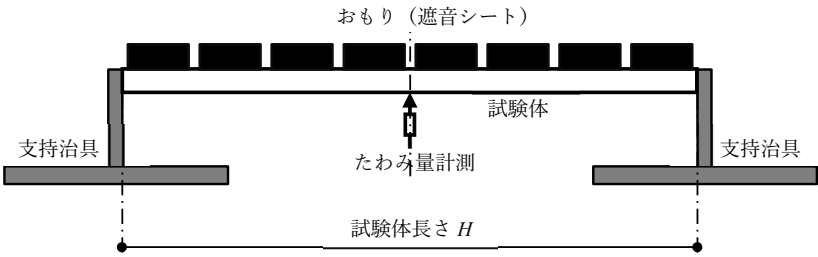
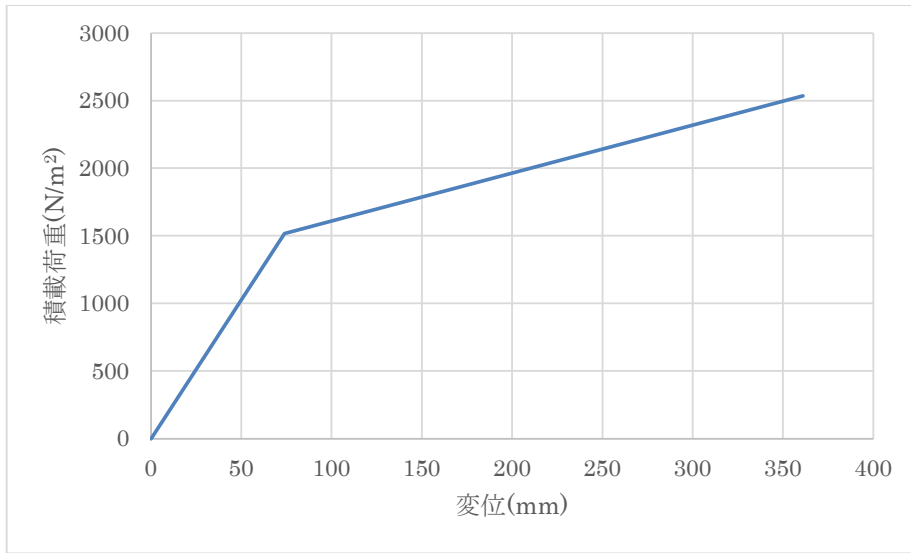
試験名称	大型間仕切り壁の倉庫業法規準 (2500N/m <sup>2</sup> ) 耐力性能評価試験								
依頼者	株式会社 佐藤型鋼製作所								
試験体	試験体 No.	高さ (mm)	スタッド ピッチ(mm)	スタッド (t 板厚 mm)		ボード仕様			
	1	5250	455	LGB-100NF (t1.0)		S12			
	2	6000	303	LGB-100NF (t1.0)		S12			
	3	6500	227.5	LGB-100NF (t1.0)		S12			
	4	6500	303	SLGB-100NFB (t1.2)		S12			
	5	8000	227.5	SLGB-100NFB (t1.2)		S12			
概要	<p>鋼製下地材を用いた大型間仕切り壁の倉庫業法規準 (2500N/m<sup>2</sup>) に対する耐力性能評価試験を図 1 に示すような等分布载荷試験により実施する。実際の壁体は垂直に立てた形で設置されるが、試験の都合上、試験体を水平に寝かした状態でおもりを載せることで壁面に側圧を作用させる。そのため本試験では試験体の自重分が側圧として加算されて作用するため、これらと合わせた側圧が基準の面圧 (2500N/m<sup>2</sup>) となるように、おもりの量を調整し、等分布荷重として作用させる。この時、試験体中央部のたわみ量変位を計測するとともに、試験体の性状を確認する。</p> <div style="text-align: center;">  <p>図 1 载荷試験方法</p> </div>								
使用機器	荷重計 (おもりの計測用) : ロードセル/容量 50kN								
結果一覧	試験体 No.	高さ (mm)	スタッド ピッチ(mm)	試験体重量 (kg)	载荷総重量 (kg)※	载荷面面積 (m <sup>2</sup> )	遮音シート 枚数(枚)	荷重 (N/m <sup>2</sup> )	たわみ量 (mm)
	1	5250	455	325	1573	7.17	171	2535	361
	2	6000	303	260	1196	5.46	130	2530	280
	3	6500	227.5	222	984	4.44	107	2557	200
	4	6500	303	292	1297	5.92	141	2533	230
	5	8000	227.5	300	1101	5.46	118	2514	304
※载荷したおもりの総重量 (試験体重量を含まない重量) 遮音シート (455×910) 9.2 kg/枚									
試験実施日	2020 年 11 月 17 日 (No1,No.2,No.3,No.4) 2020 年 5 月 25 日 (No.5)								



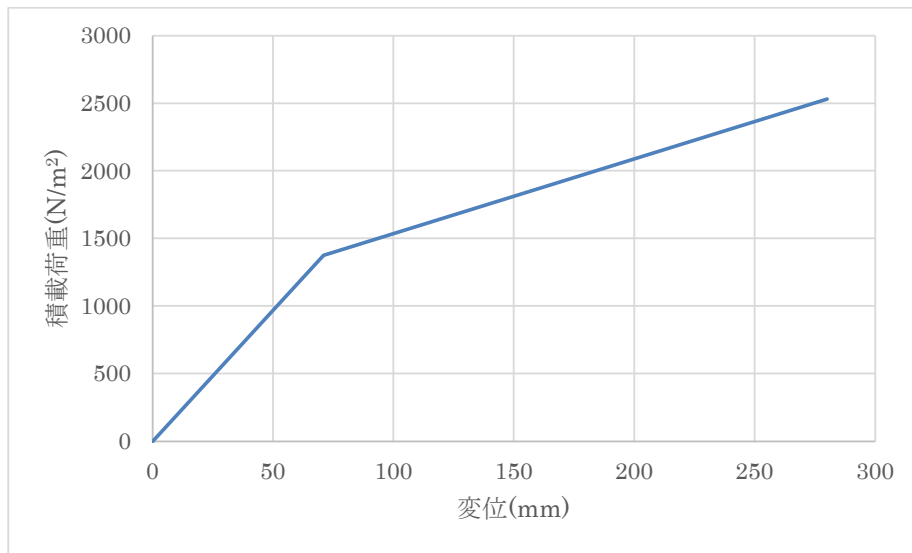
写真 1 実験風景（載荷前）



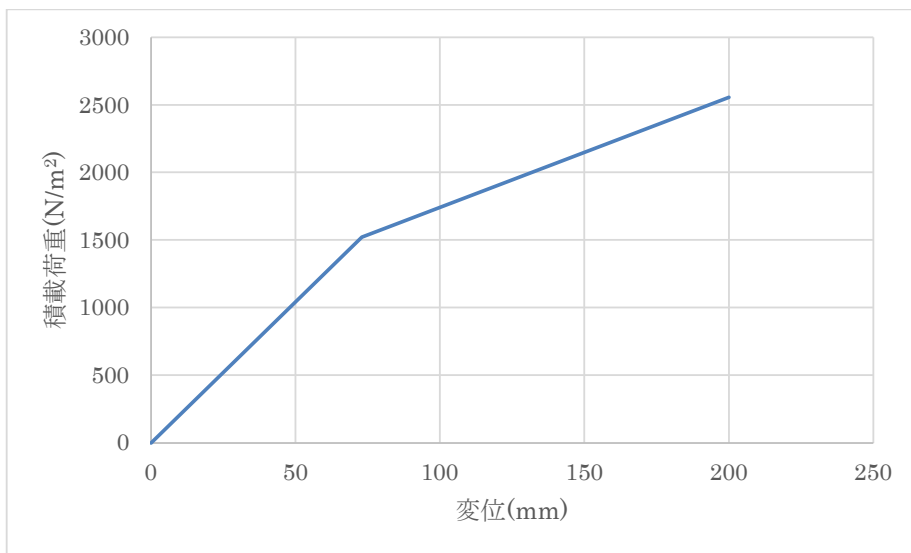
写真 2 実験風景・2500N/m<sup>2</sup>最終載荷状況（耐力保持）



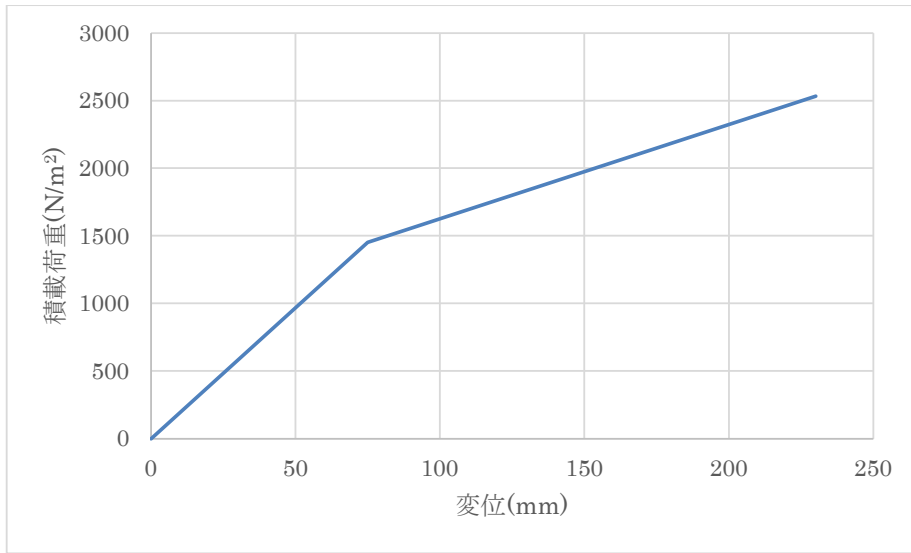
グラフ 1 荷重-変位関係 (試験体 No.1)



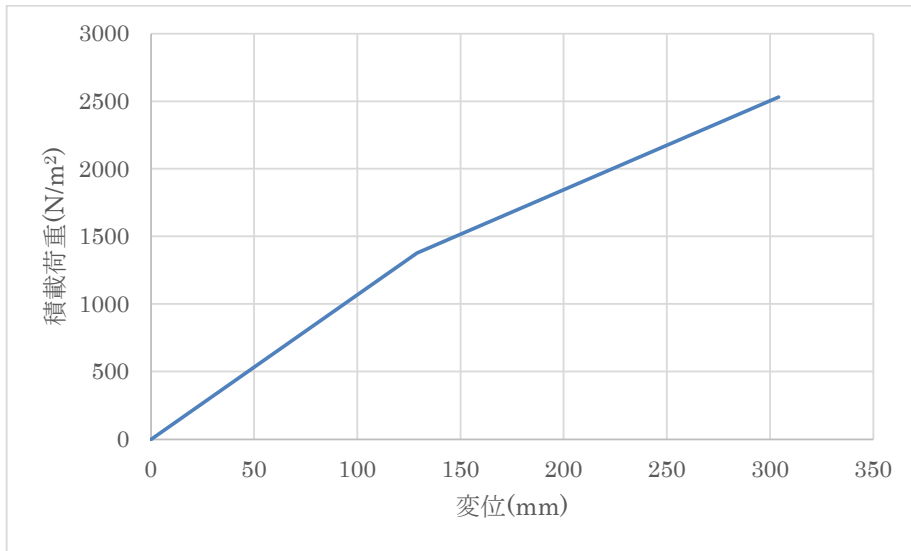
グラフ 2 荷重-変位関係 (試験体 No.2)



グラフ 3 荷重-変位関係 (試験体 No.3)



グラフ 4 荷重-変位関係 (試験体 No.4)



グラフ 5 荷重-変位関係 (試験体 No.5)

## 総評

以上の通り、弊社強力型間仕切下地材 倉庫業法仕様の鋼製部材は、 $2500\text{N}/\text{m}^2$ 荷重試験において重大な損傷、変形、脱落は起こりませんでした。

これにより、弊社強力型間仕切下地材 倉庫業法仕様は倉庫業法（則第3条の4第2項第2号）に規定されている  $2500\text{N}/\text{m}^2$ 以上の荷重に耐えうる強度を有していることを確認しました。

株式会社佐藤型鋼製作所

監修 近畿大学工学部  
教授 松本 慎也